

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アダッシュ顆粒水和剤 (プロピザミド水和剤)
会社名	シンジェンタ ジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	除草剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性:	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(肝臓、腎臓)
環境に対する有害性	水性環境急性有害性 短期(急性)	区分2

* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	警告
危険有害性情報:	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓、腎臓) 水生生物に毒性
安全対策	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。 環境への放出は避ける。
応急措置	気分が悪いときは、医師の診察/手当を受ける。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に業務委託する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名【一般名】 3,5-ジクロロ-N-(1,1-ジメチル-2-プロピニル)ベンズアミド
 【一般名:プロピザミド】

成分及び含有量

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号	CAS番号
プロピザミド	50	C ₁₂ H ₁₁ Cl ₂ NO	4-(7)-458(安衛法)	23950-58-5
鉍物質微粉、界面活性剤等 (ドデシル硫酸ナトリウム)	50 (2.0)	- C ₁₂ H ₂₅ NaO ₄ S	- 2-1679(化審法)	- 151-21-3

4. 応急措置

一般的アドバイス 緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。

吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗う。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合: 口をすすぐ。
気分が悪い時は、医師に連絡する。

最も重要な急性および遅発性の症状 知見なし

医療関係者への情報 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤 粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤、乾燥砂類など

使ってはならない消火剤 直接の棒状注水(飛散及び火災の延焼を避けるため)

特有の危険有害性 火災時には、刺激性で有害なガスを放出する可能性があるため、消火作業時には煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火作業は、風上から行い、煙を吸入しないように注意する。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護 消火作業の際には、呼吸器用保護具、保護帽、保護メガネ、保護手袋、耐火性防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	風下の人を避難させ、風上より作業する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏出物の処理を行う際には、適切な保護具(『8. 暴露防止及び保護措置』の項を参照)を着用する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法	漏出物及び回収物は河川などに流出させない。 機材:漏出物を掃き集めて、密閉できる容器等に回収する。 粉じん用集じん機などで吸い取るなど、粉じんが飛散しない方法で取り除く。
二次災害の防止策	全ての着火源(熱、火花、裸火、高温、静電気放電等)を取除く。 排水溝、下水溝、地下室及び閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策 安全取扱い注意事項	局所排気、全体換気を行う。(『8. 暴露防止及び保護措置』を参照) ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。 環境への放出を避ける。
接触回避 衛生対策	情報なし この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後は、手をよく洗う。
保管 保管条件	容器に密閉して換気の良い場所で保管する。 施錠して保管する。
混触危険物質 容器包装材料	情報なし アルミラミネート袋

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体換気を適正に行う。 取扱い作業場の近くに手洗い・洗眼設備、安全シャワー等を設置する。
管理濃度 許容濃度	情報なし
日本産業衛生学会 ACGIH	設定されていない。 設定されていない。
保護具	呼吸器防護具 : 農薬用マスク 手の保護具 : 保護手袋

眼の保護具 :保護メガネ
 皮膚及び身体の保護具 :保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理化学的状態	顆粒
色	白色
臭い	データなし
沸点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当しない
引火点	該当しない
自然発火点	該当しない
分解温度	データなし
pH	6.5～8.0
動粘性度	該当しない
溶解度	水に懸濁
オクタノール/水分配係数	該当しない
蒸気圧	該当しない
密度	データなし
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常 of 取扱い条件下では安定。
化学的安定性	通常 of 取扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	重合しにくい。
避けるべき条件	直射日光が当たる場所での長期保管は避ける。
混触危険物質	強酸、強アルカリ剤
危険有害な分解生成物	通常 of 保管・取扱い条件下では危険有害な分解生成物はない。 なお、燃焼すると刺激性で有毒なガスを生成する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	LD50(ラット)	>5,000 mg/kg
急性毒性(経皮)	LD50(ラット)	>2,000 mg/kg

急性毒性(吸入)	データがないため、分類できない。	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ	ウサギにおける眼刺激性試験において、投与 1、2 及び 3 日後の結膜発赤・浮腫、虹彩・角膜病変の平均指数が 0.33 であった。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	モルモット	呼吸器感作性:データがないため、分類できない。 皮膚感作性:陰性
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。	
発がん性	データ不足のため分類できない。 プロピザミド:細胞を用いた復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞を用いた染色体異常試験及びマウスを用いた骨髄小核試験のいずれにおいても陰性であった。	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。 プロピザミド:ラット及びウサギを用いた催奇形性試験において、催奇形性は認められなかった。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	プロピザミドが区分 2 相当したため、区分 2 とした。 プロピザミド:ラットを用いた 90 日間反復経口毒性試験において、区分 2 に該当するガイダンス値の範囲で肝臓及び腎臓の病変が認められた。	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。	

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

短期(急性)

コイ LC50(96hr)	335.9 mg/L
オオミジンコ EC ₅₀ (48hr)	>1,000 mg/L
緑藻 ErC ₅₀ (72hr)	8.51 mg/L

長期(慢性)

データ不足のため、分類できない。

残留性/分解性

情報なし

生態蓄積性

情報なし

土壌の移動性

情報なし

オゾン層有害性

オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の附属書に列記された規制物質を含まない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託するなど適切に廃棄する。

汚染容器及び包装 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。
 関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	クラス9
航空規制情報	クラス9
国連番号	3077
海洋汚染物質	該当
国内規制	『15. 適用法令』の項を参照の上、規定の積載方法、容器等によって輸送する。
特別安全対策	輸送に際しては、包装あるいは容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 24218 号
労働安全衛生法	該当なし
化管法	プロピザミド 第 1 種指定化学物質 ドデシル硫酸ナトリウム 第 1 種指定化学物質
水質汚濁防止法	プロピザミド:政令第3条の3第31条

16. その他の情報

引用文献	ドシエ(プロピザミド)ユーピーエルジャパン合同会社(令和元年改訂) ドシエ(アダッシュ顆粒水和剤)ユーピーエルジャパン合同会社(令和元年改訂)
記載内容の取扱い	製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。 この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。 当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門
HSEグループ

電話番号
03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999